

科目名	論語 (学校設定科目)	使用教材	「論語」ノート (興譲館高校オリジナル)
担当	小谷彰吾・沖久教人		
単位数	1年次:1単位必修 スーパー進学コース(通年)	評価方法	定期考査 授業への取り組み (姿勢・発声・その他基本的な学習習慣) 日常生活での実践

学習到達目標

- ◆人としての正しい道を知る指針の一つとして「論語」の内容を理解すると共に、質の高い生き方・考え方を理解し、日常生活の中で実践しようとする態度を養う。
- ◆「論語」を学ぶことで、孔子の考え方、儒教の教えを理解し、伝承の校訓「白鹿洞書院掲示」が目指す人間像を明確にすると共に、自己を高めようとする意欲を持つことができる。
- ◆現代社会の歪みの原因が、一人ひとりの心の中にあることに気付くと共に、自分の生き方・考え方に対して問題意識を持つことができる。
- ◆基本的な学習の様(姿勢・発声・話し方・視線)を定着する。

授業について

この授業は、本校の伝承の校訓「白鹿洞書院掲示」の理解を深めるとともに、「人として、まっすぐに正しく生きていく」ために、設定された学校独自の設定科目です。

孔子がその弟子達に語った内容には、現代社会の中で失われつつある人としての重要な教えが多く含まれており、その一つ一つの意味を知り、自分の生活や身の回りの出来事と重ね合わせて考えていくと、具体的な改善点が見えてきます。

「論語」と聞くと、文法が難しく、慣れない漢文が多いため、苦手なイメージを持ちやすいものですが、この授業では、そうではありません。「生き方・考え方」など道徳的な学びを中心に、自分たちの日常生活の中から例を取りだして、孔子の教えを学んでいく授業なのです。「論語」の中には、これから生きていく高校生諸君にとって、宝物のような教えが満載です。それらを身につけることによって、質の高い生き方や考え方ができるようになれば、諸君に秘められた力を存分に発揮していくことができるのではないかと思います。

また、一年に設定してある理由は、「学び方を学ぶ」ためです。聞く姿勢、話す姿勢、書く姿勢など、学習の基本的な事柄を一つ一つ押さえながら、学習を進めていきます。「声に出して読む」トレーニングも毎時間継続します。そのたびに心の中まできれいになって、学習したことが実践に結びついていくようになると他の教科も楽しく学べるようになるのではないのでしょうか。

自主学習について

少しの時間で構いませんから、1日に3～4文ずつ学んでいく論語の「読み」と「意味」を予習復習しましょう。また、夏休みなどには、本屋さんで売られている「論語」に関わる本を購入して、読んでいきます。今から、そういう習慣を付けておくことが大切です。近年、「論語」の価値が見直され、大人気となっている事を考えても、人々の日々の生活に示唆を与えてくれる書であることは間違いありません。

評価について

◆評価の観点と対象

- ①日常の善悪の判断、正しい言動(思考判断・実践)
- ②授業中の「聞き方・話し方・書き方・目の輝き」(興味関心・意欲・態度)
- ③課題の提出とその内容(基本的な学習のきまりの習得)
- ④定期考査[期末考査のみ](知識・理解)

月	週	単元(論語文)	目標	学習の要点
4月	1	伝承の校訓「白鹿洞書院揭示」①②	・校訓の意味を知る・校訓を覚え、言うことができる ・「論語」を学ぶ意味を知り、興味関心を高める	●論語を学ぶ意義目的 ●伝承の校訓 ●教室移動と使用のきまり ●授業の終結のきまり ●聞き方・話し方・姿勢・目の向き」の視点
	2			
	3			
5月	4	P1 学而第一 「友朋自遠方来」「本立直道生」「巧言令色鮮矣仁」	・「知行合一」の精神 ・「習」の語源 「子曰」の意味 ・「剛毅木訥」な生き方 ・「仁」とは	(関)総合「自分を見つめる」 ※「生き方・考え方」に関心を持つ
	5	P2 「吾日三省吾身」「行有余力 則以學文」 「學則不困」	・「修己治人」の精神 ・「自省自戒」による反省重視 ・「恕」の意味・ツグーの戒諭	●「恕」の精神 ●「反省」と「実践」 ●視心とは ●予習、復習の開始 ●1日で校訓、授業開始、校務が日常化 ●既習の論語を教室掲示の上、看布
	6	P3 「溫良恭儉讓以得之」 「敏於事而慎於言 就有道而正焉」「切莫取譽」	・五つの「徳」 ・「不言実行」 ・経済観念、精神共に自己を見失わない ・自己研鑽	(関)総合「生命の誕生」 ※現代社会の姿みに目を向ける
6月	7	P4 「不患人之不己知 患己不知人也」 「知北郭居其所」道之以徳 齊之以礼 有恥且格」	・自省 自己責任 ・徳治主義 ・法令刑律と徳治	(関)総合「生命の誕生」 ※現代社会の姿みに目を向ける
	8	P5 為政第二 「吾十有五而志乎学」 「父母唯其疾之憂」「不教 何以罰乎」	・人生の起承転結 ・子を思ふ親の気持ち ・視孝行の意味 ・孔子の対機説法	●言行一致とは ●自己研鑽「切莫取譽」 ●私利私欲の排除 ●仲間と意見交換ができ建設的に発言できる ●「聞き方・話し方」の質が高まる ●論語に興味を持ち、自ら読書するなどの生徒が見られる ●「愛核心」の意味を理解する
	9	P6 「視其所以 觀其所由 察其所安」 「溫故知新」「君子不器」	・人の観察法 ・過去を大切にしたい未来創造 ・人としての器の大きさは	(関)1年生合宿研 ※夢や目標を持つことの重要性を理解し、生活の中で具体的改善点を考え始める
7月	10	P7 「先行其言 而後從之」「剛而不比 比而不剛」 「学而不思則罔 思而不学則殆」	・「言行一致」の精神 ・開つくりの戒めと普遍的な愛 ・組織の円滑な運営を妨げる 固定観念や先入観	●「仁」を追求すると言うこと ●「恕」への到達とは ●私利私欲の排除 ●文字や表現に高まりが見られる ●授業の前後に自ら観察を意識する姿が見られる ●多くの生徒に予習復習の定着が見られ学習に深まりが見られる
	11	P8 「攻乎異端 詘知為不知 是知也」 「人百難信 不知其可也」「見義不為 無勇也」	・思想を強制、指示するより自己研鑽 ・無知を知る事が 真実への第一歩 信頼が人をつなぐ ・正道	●意味ある「論語」のいくつかを覚えている (関)総合「生きる姿に学ぶ」～体験学習～ ※人とのつながり、関わりの中に自分がいることを感じる ※自分の「生き方・考え方」が重要であることをぼんやりと感じる
	12	P9 八 佞 「人而不仁 如礼何」 「不知禮要之亡也」「無所争 必也射乎」	・思いやりの心 ・知を蓄え体を養い自己を磨く ・徳を極める「礼儀正しき」	●「洞察力」を持つということ ●「下問を恥じない」生き方 ●公平の立場で判断 ●学習のきまり、教室使用の約束事を再確認 ●グループ討論などに中心となる生徒が見れ何人がリーダーシップを発揮する ●ほとんどの生徒に予習復習の定着が見られる
8月	13	P10-11 里仁 「里仁為美」 「仁者安仁 知者利仁」「唯仁者能好人 能恶人」 「苟志於仁矣 無惡也」	・心に三聖賢を持つ ・愛を武器とし、仁を武器として ・利権に目をくらまさない「仁」に志し仁に生きる	(関)総合「生きる姿に学ぶ」～体験学習～ ※人とのつながり、関わりの中に自分がいることを感じる ※自分の「生き方・考え方」が重要であることをぼんやりと感じる
	14	P12 「富与貴 是人所欲也」 「人之富也 各於其愛」「朝聞道 夕死可矣」	・火急急要失敗の時、仁を離れず、出世と地位は正当手段 ・過ちは誤りの論理 ・現実を超えた理想追求	●「洞察力」を持つということ ●「下問を恥じない」生き方 ●公平の立場で判断 ●学習のきまり、教室使用の約束事を再確認 ●グループ討論などに中心となる生徒が見れ何人がリーダーシップを発揮する ●ほとんどの生徒に予習復習の定着が見られる
	15	P13 「無適也 無莫也」「能以礼譲為国乎」 「不思難位 患所以立」	・「行実流水」無心状態で一歩下がって全体を見る ・平素の地道な修業や努力によって真の力をつける	●「洞察力」を持つということ ●「下問を恥じない」生き方 ●公平の立場で判断 ●学習のきまり、教室使用の約束事を再確認 ●グループ討論などに中心となる生徒が見れ何人がリーダーシップを発揮する ●ほとんどの生徒に予習復習の定着が見られる
9月	16	P14 「夫子之道 忠恕而已矣」 「君子喻於義 小人喻於利」「見不賢而内自省也」	・初心を貫く武器は真心「恕」 ・「七徳仁道」 ・道者の優れた所を拓き思ひがたを磨くのは徳の骨頂	(関)総合「生きる姿に学ぶ」～体験学習～ ※生きていることに感謝し、常に自分を反省しようとする姿が見られる
	17	P15 「回也聞一以知十」「朽木不可彫也」	・一時の恥にこだわって自分を小さくしてはならない ・洞察力は時に欠点となる	●「洞察力」を持つということ ●「下問を恥じない」生き方 ●公平の立場で判断 ●学習のきまり、教室使用の約束事を再確認 ●グループ討論などに中心となる生徒が見れ何人がリーダーシップを発揮する ●ほとんどの生徒に予習復習の定着が見られる
	18	P16 「我不欲人之加誼我也」 「未之絶行 唯恐有聞」「敏而好学 不恥下問」	・己の欲せざる所 同意 ・権威よりも実績を重視 ・立身、身分、職位、経験を超えて学び合う	(関)総合「生きる姿に学ぶ」～体験学習～ ※生きていることに感謝し、常に自分を反省しようとする姿が見られる
10月	19	P17 「有君子之道四焉」「久雨人歌之」 「三思而後行」	・「恭・敬・忠・義」四つの徳 ・視しき神にも礼儀あり ・「勇断果決」考えすぎは逆効果	●「洞察力」を持つということ ●「下問を恥じない」生き方 ●公平の立場で判断 ●学習のきまり、教室使用の約束事を再確認 ●グループ討論などに中心となる生徒が見れ何人がリーダーシップを発揮する ●ほとんどの生徒に予習復習の定着が見られる
	20	P18 「暴虎 馮河」「不念旧惡」 「老者安之 朋友信之 少者懷之」「已矣乎」	・後進指導には後戻りもある・古い悪事は必ず忘れる ・高齢者、友人、若者を大切に ・自己研鑽	●「洞察力」を持つということ ●「下問を恥じない」生き方 ●公平の立場で判断 ●学習のきまり、教室使用の約束事を再確認 ●グループ討論などに中心となる生徒が見れ何人がリーダーシップを発揮する ●ほとんどの生徒に予習復習の定着が見られる
	21	P20 雍也 「一簞食 一瓢飲 在陋巷」 「中道而廢 今女西」「無為小人儀」	・豊かさの中の質素にこそ真の楽しみ ・道は実行によって初めて価値 ・日先の小さな利を見ない(徳い次元で断ち切らないう)	●「洞察力」を持つということ ●「下問を恥じない」生き方 ●公平の立場で判断 ●学習のきまり、教室使用の約束事を再確認 ●グループ討論などに中心となる生徒が見れ何人がリーダーシップを発揮する ●ほとんどの生徒に予習復習の定着が見られる
11月	22	P21 「知之者 不知好之者 好之者 不知樂之者」 「中人以上 可以語上徳」「敬鬼神而遠之」	・知的好奇心を育てる到達点 ・人を見て徳を説く・「知」と「仁」の教訓、成功を急ぐな	●「洞察力」を持つということ ●「下問を恥じない」生き方 ●公平の立場で判断 ●学習のきまり、教室使用の約束事を再確認 ●グループ討論などに中心となる生徒が見れ何人がリーダーシップを発揮する ●ほとんどの生徒に予習復習の定着が見られる
	23	P22-23 「知者樂水 仁者樂山」 「中斷之為絶也 甚焉矣乎」「夫仁者己欲立而立人」	・生命の香望、生命のリフレッシュ ・國家観念「中庸」・リーダーシップとは	●「洞察力」を持つということ ●「下問を恥じない」生き方 ●公平の立場で判断 ●学習のきまり、教室使用の約束事を再確認 ●グループ討論などに中心となる生徒が見れ何人がリーダーシップを発揮する ●ほとんどの生徒に予習復習の定着が見られる
	24	P24 「是吾憂也」「志於道 精於徳 依於仁 當於義」 「顔食飲水」	・孔子の心配「不修 不潔」 ・「大哉」の中で「仁」を実践し教養をひろめる ・粗末さの中の正道	(関)総合的な学習～課外～高校野球の応援をしよう
12月	25	P25 「我非生而知之者」「我三人行 必得我師矣」 「小人長戚戚」	・努力と修業の継続 ・共に歩く中に必ず学べる人 ・くよくよしているとつまらぬ人間になる	※感謝を共有できる仲間の素晴らしいさを感じ、自分の夢や目標に対する意欲を高め、その方法を再確認することができる
	26	P27 泰伯 「君而無礼則辱」 「君子篤於親 則民興於仁」「有若無」	・礼にかかった丁寧さ、慎重さ ・「故旧忘れずき」 ・人としての大らかさ謙虚さ	●「洞察力」を持つということ ●「下問を恥じない」生き方 ●公平の立場で判断 ●学習のきまり、教室使用の約束事を再確認 ●グループ討論などに中心となる生徒が見れ何人がリーダーシップを発揮する ●ほとんどの生徒に予習復習の定着が見られる
	27	P28-29 「死生有命 不可及也」 「無所及 怨恐失之」	・強固な意志と深い見識 ・人間の教養の完成過程 ・発露に放する「力」を講じる ・非学問的態度への戒め	●「洞察力」を持つということ ●「下問を恥じない」生き方 ●公平の立場で判断 ●学習のきまり、教室使用の約束事を再確認 ●グループ討論などに中心となる生徒が見れ何人がリーダーシップを発揮する ●ほとんどの生徒に予習復習の定着が見られる
1月	28	P29-30 子カ 「子絶四母意母必毋固母執」 「道者如斯夫」「富貴不為者有矣夫」 「知者不惑 仁者不愛」	・「意を絶つ、必を絶つ、固を絶つ、我を絶つ」 ・こだわりを棄て精神浄化 ・周囲の期待による要衝心の安定	●「洞察力」を持つということ ●「下問を恥じない」生き方 ●公平の立場で判断 ●学習のきまり、教室使用の約束事を再確認 ●グループ討論などに中心となる生徒が見れ何人がリーダーシップを発揮する ●ほとんどの生徒に予習復習の定着が見られる
	29	P30 顔淵 「主忠信 注義 崇徳也」 「忠告而善道之 不可則止」 「君子以文会友 以友輔仁」	・道徳意識向上と是非の弁別法 ・相手の過ちに諷意有る忠告 ・学問を通じ影響しあひながら仁の体現	●「洞察力」を持つということ ●「下問を恥じない」生き方 ●公平の立場で判断 ●学習のきまり、教室使用の約束事を再確認 ●グループ討論などに中心となる生徒が見れ何人がリーダーシップを発揮する ●ほとんどの生徒に予習復習の定着が見られる
	30	日常実践の反省と課題	・年間の学習の総括 ・前期の実践における到達度	※本校生徒であることに自信と誇りを持って、 ※謙虚で誠実な生き方をめざそうとし、現状の課題を見つめることができる ※高意の判断ができ、仲間にも本音で忠告できる

科目名	論語 (学校設定科目)	使用教材	「論語」ノート (興譲館高校オリジナル)
担当	小谷彰吾・沖久教人		
単位数	1年次:1単位必修 ベーシックコース(前期のみ)	評価方法	定期考査 授業への取り組み (姿勢・発声・その他基本的な学習習慣) 日常生活での実践

学習到達目標

- ◆人としての正しい道を知る指針の一つとして「論語」の内容を理解すると共に、質の高い生き方・考え方を理解し、日常生活の中で実践しようとする態度を養う。
- ◆「論語」を学ぶことで、孔子の考え方、儒教の教えを理解し、伝承の校訓「白鹿洞書院掲示」が目指す人間像を明確にすると共に、自己を高めようとする意欲を持つことができる。
- ◆現代社会の歪みの原因が、一人ひとりの心の中にあることに気付くと共に、自分の生き方・考え方に対して問題意識を持つことができる。
- ◆基本的な学習の癖(姿勢・発声・話し方・視線)を定着する。

授業について

この授業は、本校の伝承の校訓「白鹿洞書院掲示」の理解を深めるとともに、「人として、まっすぐに正しく生きていく」ために、設定された学校独自の設定科目です。

孔子がその弟子達に語った内容には、現代社会の中で失われつつある人としての重要な教えが多く含まれており、その一つ一つの意味を知り、自分の生活や身の回りの出来事と重ね合わせて考えていくと、具体的な改善点が見えてきます。

「論語」と聞くと、文法が難しく、慣れない漢文が多いために、苦手なイメージを持ちやすいものですが、この授業では、そうではありません。「生き方・考え方」など道徳的な学びを中心に、自分たちの日常生活の中から例を取りだして、孔子の教えを学んでいく授業なのです。「論語」の中には、これから生きていく高校生諸君にとって、宝物のような教えが満載です。それらを身につけることによって、質の高い生き方や考え方ができるようになれば、諸君に秘められた力を存分に発揮していくことができるのではないかと思います。

また、一年に設定してある理由は、「学び方を学ぶ」ためです。聞く姿勢、話す姿勢、書く姿勢など、学習の基本的な事柄を一つ一つ押さえながら、学習を進めていきます。「声に出して読む」トレーニングも毎時間継続します。そのたびに心の中まできれいになって、学習したことが実践に結びついていくようになると他の教科も楽しく学べるようになるのではないのでしょうか。

自主学習について

少しの時間で構いませんから、1日に3～4文ずつ学んでいく論語の「読み」と「意味」を予習復習しましょう。また、夏休みなどには、本屋さんで売られている「論語」に関わる本を購入して、読んでいきます。今から、そういう習慣を付けておくことが大切です。近年、「論語」の価値が見直され、大人気となっている事を考えても、人々の日々の生活に示唆を与えてくれる書であることは間違いありません。

評価について

◆評価の観点と対象

- ①日常の善悪の判断、正しい言動(思考判断・実践)
- ②授業中の「聞き方・話し方・書き方・目の輝き」(興味関心・意欲・態度)
- ③課題の提出とその内容(基本的な学習のきまりの習得)
- ④定期考査[期末考査のみ](知識・理解)

月	週	単元(論語文)	目標	学習の要点
4月	1	1 従来の校訓「白鹿洞書院揭示」①② 2 「論語」概説 3 P1 学而第一 「文田自遠方来」「本立而道生」「巧言令色鮮矣仁」	・校訓の意味を知る・校訓を覚え、言うことができる ・「論語」を学ぶ意味を知り、興味関心を高める	●論語を学ぶ意義目的 ●従来の校訓 ●教室移動と使用のきまり ●授業の開始のきまり ●「聞き方・話し方・姿勢・目の向き」の観点 (関)総合「自分を見つける」 ※「生き方・考え方」に関心を持つ
	5		・「修己治人」の精神 ・「習」の語源 「子曰」の意味 ・「剛毅木訥」な生き方 ・「仁」とは	●「禮」の精神 ●「反省」と「実践」 ●親心とは ●予習、復習の開始 ●HRで校訓、校歌輪和、挨拶が日常化 ●既習の論語を教室掲示の上、唱和
	6		・「修己治人」の精神 ・「自省自戒」による反省重視 ・「恕」の意味・リーダーの威厳	●「禮」の精神 ●「反省」と「実践」 ●親心とは ●予習、復習の開始 ●HRで校訓、校歌輪和、挨拶が日常化 ●既習の論語を教室掲示の上、唱和
	7		・五つの「徳」 ・「不言実行」 ・経済観念、精神共に自己を見失わない ・自己研鑽	●「禮」の精神 ●「反省」と「実践」 ●親心とは ●予習、復習の開始 ●HRで校訓、校歌輪和、挨拶が日常化 ●既習の論語を教室掲示の上、唱和
5月	8	P2 「吾日三省吾身」「行有余力 則以学文」 「学則不厭」	・「修己治人」の精神 ・「自省自戒」による反省重視 ・「恕」の意味・リーダーの威厳	●「禮」の精神 ●「反省」と「実践」 ●親心とは ●予習、復習の開始 ●HRで校訓、校歌輪和、挨拶が日常化 ●既習の論語を教室掲示の上、唱和
	9	P3 「道良而術謀以得之」 「論於事而慎於言 就有道而正焉」「切近琢磨」	・五つの「徳」 ・「不言実行」 ・経済観念、精神共に自己を見失わない ・自己研鑽	●「禮」の精神 ●「反省」と「実践」 ●親心とは ●予習、復習の開始 ●HRで校訓、校歌輪和、挨拶が日常化 ●既習の論語を教室掲示の上、唱和
	10	P4 「不患人之不己知 患己不知人也」 「如北就其所」「道之以徳 齊之以礼 有恥且格」	・自省 自己責任 ・徳治主義 ・法令無律と徳治	(関)総合「生命の誕生」 ※現代社会の道徳に目を向ける
	11	P5 為政第二 「吾十有五而志于学」 「父母唯其疾之忧」 「不敏 何以别乎」	・人生の起承転結 ・子と思う義の気持ち ・親孝行の意味 ・孔子の対機説法	●言行一致とは ●自己研鑽「切近琢磨」 ●私利私欲の克服 ●仲間と意見交換が得意に建設的に発言できる ●「聞き方・話し方」の質が高まる ●論語に興味を持ち、自ら読書するなどの生徒が見られる ●「愛校心」の意味を理解する
	12	P6 「視其所以 觀其所由 察其所安」 「温故知新」「君子不器」	・人の観察法 ・温故を大切にしたい未来創造 ・人としての器の大きさは	●言行一致とは ●自己研鑽「切近琢磨」 ●私利私欲の克服 ●仲間と意見交換が得意に建設的に発言できる ●「聞き方・話し方」の質が高まる ●論語に興味を持ち、自ら読書するなどの生徒が見られる ●「愛校心」の意味を理解する
6月	13	P7 「先行其言 而後從之」「異而不比 比而不阿」 「学而不思則罔 思而不学則殆」	・「言行一致」の精神 ・困づりの戒めと普遍的な愛 ・組織の円滑な運営を妨げる 固定観念や先入観	(関)1年生合宿等 ※夢や目標を持つことの重要性を理解し、生活の中で具体的な改善点を考え始める
	14	P8 「攻乎異端 詘知為不知 是知也」 「人面無信 不知其可也」「見義不为 無勇也」	・思想を強制、指示するより自己研鑽 ・無知を知る事が 真実への扉 ・信頼が人をつなぐ ・正道	●「仁」を追求すると言うこと ●「恕」への到達とは ●私利私欲の克服 ●文字や表現に高まりが見られる ●授業の前後に自ら振舞を意図する姿が見られる ●多くの生徒に予習復習の定着が見られ学習に深まりが見られる ●興味ある「論語」のいくつかを覚えている (関)総合「生きる姿に学ぶ」～体験学習～ ※人とのつながり、関わりの中に自分がいることを感じる ※自分の「生き方・考え方」が重要であることをぼんやりと感じる
	15	P9 八 伊 「人而不仁 如礼何」 「不知語夏之亡也」「無所争 必也射乎」	・思いやりの心 ・知を徳を徳を使い自己を磨く ・勝負を極める「礼儀正しさ」	●「仁」を追求すると言うこと ●「恕」への到達とは ●私利私欲の克服 ●文字や表現に高まりが見られる ●授業の前後に自ら振舞を意図する姿が見られる ●多くの生徒に予習復習の定着が見られ学習に深まりが見られる ●興味ある「論語」のいくつかを覚えている (関)総合「生きる姿に学ぶ」～体験学習～ ※人とのつながり、関わりの中に自分がいることを感じる ※自分の「生き方・考え方」が重要であることをぼんやりと感じる
	16	P10-11 里仁 「里仁為美」 「仁者安仁 知者利仁」「唯仁者能好人 能恶人」 「苟志於仁矣 無怨也」	・心に三畏問を持つ ・愛を武器とし、仁を武器として ・利害に目をくらまさない・仁に志し仁に生きる	●「仁」を追求すると言うこと ●「恕」への到達とは ●私利私欲の克服 ●文字や表現に高まりが見られる ●授業の前後に自ら振舞を意図する姿が見られる ●多くの生徒に予習復習の定着が見られ学習に深まりが見られる ●興味ある「論語」のいくつかを覚えている (関)総合「生きる姿に学ぶ」～体験学習～ ※人とのつながり、関わりの中に自分がいることを感じる ※自分の「生き方・考え方」が重要であることをぼんやりと感じる
	17	P12 「富与貴 是人所欲也」 「人之惡也 各於其党」「朝聞道 夕死可矣」	・火急急変失敗の時、仁を離れず、出世と地位は正当手段 ・道とは心の論理 ・現実を超えた理想追求	●「仁」を追求すると言うこと ●「恕」への到達とは ●私利私欲の克服 ●文字や表現に高まりが見られる ●授業の前後に自ら振舞を意図する姿が見られる ●多くの生徒に予習復習の定着が見られ学習に深まりが見られる ●興味ある「論語」のいくつかを覚えている (関)総合「生きる姿に学ぶ」～体験学習～ ※人とのつながり、関わりの中に自分がいることを感じる ※自分の「生き方・考え方」が重要であることをぼんやりと感じる
	18	P13 「無適也 無莫也」「能以礼譲為国乎」 「不患無位 患所以立」	・「行憲成礼」無心無欲で、一歩下がって全体を見る ・平等の地道な修業や努力によって真の力をつける	●「仁」を追求すると言うこと ●「恕」への到達とは ●私利私欲の克服 ●文字や表現に高まりが見られる ●授業の前後に自ら振舞を意図する姿が見られる ●多くの生徒に予習復習の定着が見られ学習に深まりが見られる ●興味ある「論語」のいくつかを覚えている (関)総合「生きる姿に学ぶ」～体験学習～ ※人とのつながり、関わりの中に自分がいることを感じる ※自分の「生き方・考え方」が重要であることをぼんやりと感じる
	19	P14 「夫子之道 忠恕而已矣」 「君子喻於義 小人喻於利」「見不賢内自省也」	・初心を貫く武器は真心「恕」 ・「仁徳に道」 ・他者の優れた所を妬み悪さを悔めるのは愚の骨頂	●「仁」を追求すると言うこと ●「恕」への到達とは ●私利私欲の克服 ●文字や表現に高まりが見られる ●授業の前後に自ら振舞を意図する姿が見られる ●多くの生徒に予習復習の定着が見られ学習に深まりが見られる ●興味ある「論語」のいくつかを覚えている (関)総合「生きる姿に学ぶ」～体験学習～ ※人とのつながり、関わりの中に自分がいることを感じる ※自分の「生き方・考え方」が重要であることをぼんやりと感じる
	20	P15 「回也聞一以知十」「朽木不可彫也」	・一時の恥にこだわって自分を小さくしてはならない ・観察力は時に欠点となる	●「仁」を追求すると言うこと ●「恕」への到達とは ●私利私欲の克服 ●文字や表現に高まりが見られる ●授業の前後に自ら振舞を意図する姿が見られる ●多くの生徒に予習復習の定着が見られ学習に深まりが見られる ●興味ある「論語」のいくつかを覚えている (関)総合「生きる姿に学ぶ」～体験学習～ ※人とのつながり、関わりの中に自分がいることを感じる ※自分の「生き方・考え方」が重要であることをぼんやりと感じる
7月	21	P16 「我不欲人之加誹我也」 「未之能行 唯恐有聞」「敏而好学 不恥下問」	・己の成せざる所「同意」・博覧よりも実践を重視 ・立場、身分、職位、経歴を超えて学び合う	●「仁」を追求すると言うこと ●「恕」への到達とは ●私利私欲の克服 ●文字や表現に高まりが見られる ●授業の前後に自ら振舞を意図する姿が見られる ●多くの生徒に予習復習の定着が見られ学習に深まりが見られる ●興味ある「論語」のいくつかを覚えている (関)総合「生きる姿に学ぶ」～体験学習～ ※人とのつながり、関わりの中に自分がいることを感じる ※自分の「生き方・考え方」が重要であることをぼんやりと感じる
	22	P17 「有君子之道四焉」「久而人敬之」 「三思而後行」	・「赤・敬・忠・義」四つの徳 ・親しき仲にも礼儀あり ・「勇断果決」考えすぎは逆効果	●「仁」を追求すると言うこと ●「恕」への到達とは ●私利私欲の克服 ●文字や表現に高まりが見られる ●授業の前後に自ら振舞を意図する姿が見られる ●多くの生徒に予習復習の定着が見られ学習に深まりが見られる ●興味ある「論語」のいくつかを覚えている (関)総合「生きる姿に学ぶ」～体験学習～ ※人とのつながり、関わりの中に自分がいることを感じる ※自分の「生き方・考え方」が重要であることをぼんやりと感じる
	23	P18 「積善 積善」「不念旧恶」 「老者安之 朋友信之 少者懷之」「已矣乎」	・後進指導には後戻りもある・古い悪事は必ず忘れる ・高齢者、友人、若者を大切に ・自己研鑽	●「仁」を追求すると言うこと ●「恕」への到達とは ●私利私欲の克服 ●文字や表現に高まりが見られる ●授業の前後に自ら振舞を意図する姿が見られる ●多くの生徒に予習復習の定着が見られ学習に深まりが見られる ●興味ある「論語」のいくつかを覚えている (関)総合「生きる姿に学ぶ」～体験学習～ ※人とのつながり、関わりの中に自分がいることを感じる ※自分の「生き方・考え方」が重要であることをぼんやりと感じる
	24	P20 雍也 「一食食 一瓢飲 在陋巷」 「中道而廢 今女觀」「無為小人憐」	・豊かさの中の豊かさこそ真の楽しみ ・道は実行によって初めて価値 ・目先の小さな利を見ない(低い次元で飾らない)	●「仁」を追求すると言うこと ●「恕」への到達とは ●私利私欲の克服 ●文字や表現に高まりが見られる ●授業の前後に自ら振舞を意図する姿が見られる ●多くの生徒に予習復習の定着が見られ学習に深まりが見られる ●興味ある「論語」のいくつかを覚えている (関)総合「生きる姿に学ぶ」～体験学習～ ※人とのつながり、関わりの中に自分がいることを感じる ※自分の「生き方・考え方」が重要であることをぼんやりと感じる
	25	P21 「知之者 不知好之者 好之者 不知乐之者」 「中人以上 可以語上也」「敬鬼神而遠之」	・知的好奇心を育てる到達点 ・人を見て法を説く・「知」「仁」の教訓、成功を急ぐな	●「仁」を追求すると言うこと ●「恕」への到達とは ●私利私欲の克服 ●文字や表現に高まりが見られる ●授業の前後に自ら振舞を意図する姿が見られる ●多くの生徒に予習復習の定着が見られ学習に深まりが見られる ●興味ある「論語」のいくつかを覚えている (関)総合「生きる姿に学ぶ」～体験学習～ ※人とのつながり、関わりの中に自分がいることを感じる ※自分の「生き方・考え方」が重要であることをぼんやりと感じる
	26	P22-23 「知者樂水 仁者樂山」 「中庸之為徳也 甚至矣乎」「夫仁者己欲立而立人」	・生命の希望、生命のリフレッシュ ・固定観念「中庸」・リーダーシップとは	●「仁」を追求すると言うこと ●「恕」への到達とは ●私利私欲の克服 ●文字や表現に高まりが見られる ●授業の前後に自ら振舞を意図する姿が見られる ●多くの生徒に予習復習の定着が見られ学習に深まりが見られる ●興味ある「論語」のいくつかを覚えている (関)総合「生きる姿に学ぶ」～体験学習～ ※人とのつながり、関わりの中に自分がいることを感じる ※自分の「生き方・考え方」が重要であることをぼんやりと感じる
9月	27	P24 「是吾妻也」「志於道 德於徳 依於仁 窮於藝」 「傾圻食飲水」	・孔子の心配「不修 不講」 ・「六芸」の中で「仁」を実践し教養をひろめる ・糧未盡の中の正道	●「仁」を追求すると言うこと ●「恕」への到達とは ●私利私欲の克服 ●文字や表現に高まりが見られる ●授業の前後に自ら振舞を意図する姿が見られる ●多くの生徒に予習復習の定着が見られ学習に深まりが見られる ●興味ある「論語」のいくつかを覚えている (関)総合「生きる姿に学ぶ」～体験学習～ ※人とのつながり、関わりの中に自分がいることを感じる ※自分の「生き方・考え方」が重要であることをぼんやりと感じる
	28	P25 「我亦生而知之者」「我三人行 必得我師焉」 「小人長戚戚」	・努力と修練の軌程 ・共に歩く中に必ず学べる人 ・よくよくしているとは余りの人間になる	●「仁」を追求すると言うこと ●「恕」への到達とは ●私利私欲の克服 ●文字や表現に高まりが見られる ●授業の前後に自ら振舞を意図する姿が見られる ●多くの生徒に予習復習の定着が見られ学習に深まりが見られる ●興味ある「論語」のいくつかを覚えている (関)総合「生きる姿に学ぶ」～体験学習～ ※人とのつながり、関わりの中に自分がいることを感じる ※自分の「生き方・考え方」が重要であることをぼんやりと感じる
	29	P27 泰伯 「赤面無礼則勞」 「君子無於視 則民興於仁」「有若無」	・礼にかかった丁寧さ、慎重さ ・「故旧忘れ得べき」・人としての大らかさ謙虚さ	●「仁」を追求すると言うこと ●「恕」への到達とは ●私利私欲の克服 ●文字や表現に高まりが見られる ●授業の前後に自ら振舞を意図する姿が見られる ●多くの生徒に予習復習の定着が見られ学習に深まりが見られる ●興味ある「論語」のいくつかを覚えている (関)総合「生きる姿に学ぶ」～体験学習～ ※人とのつながり、関わりの中に自分がいることを感じる ※自分の「生き方・考え方」が重要であることをぼんやりと感じる
	30	P28-29 「死而後已 不亦遠乎」 「興於詩 立於礼 成於樂」「不在其位 不謀其政也」 「学如不及 猶恐失之」	・強烈な意志と情・見識 ・人間の教養の完成過程 ・発言に値する「力」を備える ・非学問的態度へ戒め	●「仁」を追求すると言うこと ●「恕」への到達とは ●私利私欲の克服 ●文字や表現に高まりが見られる ●授業の前後に自ら振舞を意図する姿が見られる ●多くの生徒に予習復習の定着が見られ学習に深まりが見られる ●興味ある「論語」のいくつかを覚えている (関)総合「生きる姿に学ぶ」～体験学習～ ※人とのつながり、関わりの中に自分がいることを感じる ※自分の「生き方・考え方」が重要であることをぼんやりと感じる
9月	30	P29-30 子カ 「子絶四母母母必母四母我」 「逝者如斯夫」「富而不吝者有矣夫」 「知者不惑 仁者不愛」	・「意を絶つ、必を絶つ、固を絶つ、我を絶つ」 ・こだわりを棄て精神浄化 ・周囲の期待による禁制 心の安定	●「仁」を追求すると言うこと ●「恕」への到達とは ●私利私欲の克服 ●文字や表現に高まりが見られる ●授業の前後に自ら振舞を意図する姿が見られる ●多くの生徒に予習復習の定着が見られ学習に深まりが見られる ●興味ある「論語」のいくつかを覚えている (関)総合「生きる姿に学ぶ」～体験学習～ ※人とのつながり、関わりの中に自分がいることを感じる ※自分の「生き方・考え方」が重要であることをぼんやりと感じる
	31	P30 顔淵 「主忠信 純義 崇徳也」 「忠告而善道之 不可則止」 「君子以文会友 以友輔仁」	・道徳意識向上と是非の弁別法 ・相手の痛みに誠意有る忠告 ・学問を通じて影響しあひながら仁の体現	●「仁」を追求すると言うこと ●「恕」への到達とは ●私利私欲の克服 ●文字や表現に高まりが見られる ●授業の前後に自ら振舞を意図する姿が見られる ●多くの生徒に予習復習の定着が見られ学習に深まりが見られる ●興味ある「論語」のいくつかを覚えている (関)総合「生きる姿に学ぶ」～体験学習～ ※人とのつながり、関わりの中に自分がいることを感じる ※自分の「生き方・考え方」が重要であることをぼんやりと感じる
	32	日常実践の反省と課題	・午間の学習の総括 ・前期の実践における到達度	●「仁」を追求すると言うこと ●「恕」への到達とは ●私利私欲の克服 ●文字や表現に高まりが見られる ●授業の前後に自ら振舞を意図する姿が見られる ●多くの生徒に予習復習の定着が見られ学習に深まりが見られる ●興味ある「論語」のいくつかを覚えている (関)総合「生きる姿に学ぶ」～体験学習～ ※人とのつながり、関わりの中に自分がいることを感じる ※自分の「生き方・考え方」が重要であることをぼんやりと感じる